

農地法第4条第1項の規定による許可申請書

令和 年 月 日

九州農政局長
鹿児島県知事

殿

申請者 氏名 湧水 太郎

下記のとおり農地を転用したいので、農地法第4条第1項の規定により許可を申請します。

記

1 申請者の住所	〇〇市 〇〇〇 ××× 〇〇〇 番地						電話番号	0995-△△-〇〇〇〇		
(代理人)	氏名	資格	住所							
2 許可を受けようとする土地の所在等	土地の所在			地目		面積 (㎡)	耕作者氏名	市街化区域・市街化調整区域		
	市町村	大字	字	地番	登記簿			現況	その他の区域の別	
	湧水町	×××	×××	1234	田	田	1,200	吉松三郎	その他	
合計	1,200 m ² (田 1,200 m ² , 畑 m ²)									
3 転用計画	(1) 転用の目的	1 一般住宅 2 農家住宅 3 山林 4 その他 ()			(2) 転用事由の詳細					
	(3) 事業の操業期間又は施設の利用期間	令和 4 年 4 月 から 永 年間 (または、許可あり次第永年間)								
	(4) 転用の時期及び転用の目的に係る事業又は施設の概要	工事計画		第1期(着工 4 年 4 月から 4 年 12 月)		第2期(着工 年月から 年月)		合計		
		名称	棟数	建築面積	所要面積	棟数	建築面積	所要面積	棟数	建築面積
土地造成										
建築物										
工作物										
植林	クヌギ	450本		1,200					1,200	
計				1,200					1,200	
4 資金調達についての計画	クヌギ苗代 45,000円 (450本×100円)			自己資金 45,000円						
5 転用することによって生ずる付近の土地・作物、家畜等の被害防除施設の概要	土地造成は行わず現状のまま利用し、隣接農地から幅3m程度の緩衝地を設け周辺農地に対する日照通風等に特別な影響を及ぼさないように措置する。雨水は、水路へ放流する。 (または、別紙被害防除計画書のとおり)									
6 その他参考となるべき事項	隣接地(1236-1雑種地1600㎡)と一体のものとして利用する。 代替地については、申請地が農地として利用が困難なため、やむを得ず山林として利用するもので代換え地は考えられない。									

(記載要領)

- 1 申請者が法人である場合には、「氏名」欄にその名称及び代表者の氏名を、「住所」欄にその主たる事務所の所在地をそれぞれ記載してください。
- 2 「市街化区域・市街化調整区域・その他の区域の別」欄には、申請に係る土地が都市計画法による市街化区域、市街化調整区域又はこれら以外の区域のいずれに含まれているかを記載してください。
- 3 「転用の時期及び転用の目的に係る事業又は施設の概要」欄には、工事計画が長期にわたるものである場合には、できる限り工事計画を6か月単位で区分して記載してください。
- 4 申請に係る土地が市街化調整区域内にある場合には、転用行為が都市計画法第29条の開発許可及び同法第43条第1項の建築許可を要しないものであるときはその旨並びに同法第29条及び第43条第1項の該当する号を、転用行為が当該開発許可を要するものであるときはその旨及び同法第34条の該当する号を、転用行為が当該建築許可を要するものであるときは、その旨及び建築物が同法第34条第1号から第10号まで又は都市計画法施行令第36条第1項第3号ロからホまでのいずれの建築物に該当するかを、転用行為が開発行為及び建築行為のいずれも伴わないものであるときは、その旨及びその理由を、それぞれ「その他参考となるべき事項」欄に記載してください。